

ほっかいどうの社会保障

2011年11月11日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いよいよ本日・集会 エルプラザホールで6時30分～ 井上氏が「社会保障情勢とたたかひの展望」を講演！



今日（11月11日・金）、午後6時30分から、エルプラザホールで、「今こそ社会保障の拡充を！学習決起集会」が行われます。

講師の井上さんは『「一体改革」はねかえしナショナル・ミニマムの確立めざそう』というテーマでお話します。

今日で大震災から8か月を迎えましたが、被災地では依然不自由な生活が余儀なくされ、福島原発災害も深刻な事態が続いています。井上さんは大震災直後から被災地で相談活動など活躍してきました。

国は、消費税増税と社会保障解体をめざす「社会保障・税一体改革」が具体化しようとしています。子育て、年金、介護、医療、生活保護など各分野で運動が広がり、計画通りに進んでいません。

北海議会でも先月、「受診時定額負担に反対する意見書」も採択されています。

今求められているのは、改悪ではなく充実です。脱原発やTPP阻止などでも見られるように、国民の世論と運動が政治を動かしつつあります。各分野の取り組みも学びあい連帯した取り組みを強めましょう。

たくさんのご参加をお待ちしています。

社会保障をめぐる情勢とたたかひの展望

「一体改革」はねかえし、ナショナル・ミニマムの確立めざそう

1. 大震災・原発事故は何を教えているのか
2. 暴走する野田政権と「社会保障と税の一体改革」
3. いかにつたかうか、展望はどこにあるのか

（報告者）

「子育て・保育分野のたたかひ」

山下千代美さん(幌北ゆりがご保育園)

「生活保護をめぐる実態とたたかひ」

細川久美子さん(道生連・副会長)

「低賃金の実態と最低賃金」

原幸雄さん(札幌ローカルユニオン結)

今日は「介護の日」 道内各地で介護110番

今日、11月11日は「介護の日」です。例年「介護110番」を行ってきましたが、認知症をはじめ介護に関する深刻な相談が寄せられています。今年は、札幌、旭川、函館、釧路で「介護110番」が行われます。

フリーダイヤルは 0120-606-629 です

相談の特徴は「いまこそ社会保障の充実を！学習決起集会」でも報告します。

函館で介護シンポジウム開く 介護職員の医行為も話題に

函館社保協は11月5日（土）14時から函館市亀田福祉センターで介護保険シンポジウム「どうなる介護保険」を開催し、100名を超える市民が参加しました。シンポジストとして、西川康之氏（函館市介護高齢福祉課長）、三谷真理氏（函館市地域包括支援センター連絡協議会会長）、中川裕久氏（函館市デイサービス・訪問入浴連絡協議会会長）、酒井雅子氏（函館市ヘルプステーション連絡協議会会長）の4名が出席、コーディネーターは早坂真一氏（函館社保協運営委員・道南勤医協）が担当しました。

酒井氏は「痰の吸引」や「経管栄養」が介護福祉士やヘルパーも一定期間の研修を受ければ実施可能になるがリスクの重さが伴う。また、研修期間中の賃金保障をどうするのかという問題もあると訴えました。会場からは「介護職員が痰の吸引を行うのは問題ではないか」という意見がありました。

最後に函館社保協の岩瀬英雄副会長が「改正では良い点もあるが、問題点も多いと感じた。今後とも市民の声を聞く場を設けたい」とあいさつしました。（「函館社保協ニュース」より抜粋）

